

製品名: GM130 ウサギポリクローナル抗体

カタログ番号: APRab11528

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	112-130kDa

抗原情報

遺伝子名	GOLGA2
別名	Golgin subfamily A member 2 (130 kDa cis-Golgi matrix protein;GM130;GM130 autoantigen;Golgin-95)
遺伝子 ID	2801.0
SwissProt ID	Q08379
免疫原	ヒト GM130 由来の合成ペプチド

背景

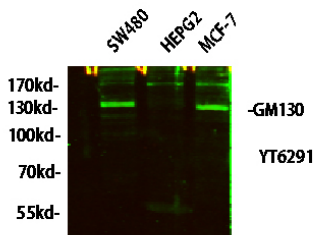
ゴルジ体は、分泌経路におけるタンパク質および脂質のグリコシル化および輸送に関与し、積み重ねられた一連のシステナ（扁平化

した膜嚢) から構成される。ゴルジ体と微小管との相互作用は、有糸分裂中に断片化されたゴルジ体の再構成に重要であると考えられている。この遺伝子は、ゴルジン (ゴルジ体に局在するタンパク質ファミリー) の 1 つをコードしている。このコードされたタンパク質は、ゴルジ体システナの積み重ねおよび小胞輸送に役割を果たすと仮定されている。この遺伝子の選択的スプライシングを受けた転写バリエーションがいくつか報告されているが、これらのバリエーションの全長は決定されていない。 [RefSeq 提供、2010 年 2 月],domain:コイルドコイルドメインを持つ伸長した棒状タンパク質。 ,function:ゴルジ自己抗原;シスゴルジ体構造の維持に関与していると考えられる。 ,配列注意: 内部欠失のため、814 番目以降の配列は示されている配列と異なる。 ,類似性: GOLGA2 ファミリーに属する。 ,サブユニット: より大きなオリゴマー複合体の一部。 p115 と相互作用する (類似性による) 。 GTP 結合によって活性化された RAB1B と相互作用する。 GORASP1/GRASP65 および ZFPL1 と相互作用する。 ,

研究分野

-

画像データ



HT-29、NIH/3T3、および HepG2 細胞の溶解液のウェスタン ブロット分析。GM130 ウサギポリクローナル抗体は 1:1000 に希釈され、4° で一晩処理され、二次抗体は 1:10000 に希釈され、37° で 1 時間処理されました。